



きぼうのいずみ

蘇原第二小学校
学校だより
第7号
令和3年10月21日

後期の高まりを目指して…

校長 奥村 美樹恵

後期の生活がスタートしました。新しい組織で、新しい自分の役割が決まり、さっそく動き出しました。前期までの子供たちの頑張りをもとに、より一層の高まりを目指し、後期始業式で次の3つを話しました。

【チャレンジを通して、できた!を増やそう】

1 自分で考え よりよく行動できる子 を目指し…

- ① 納得行くまで授業で学ぶ…分からないが言える 分からないを皆で解決
- ② 蘇二っ子学習ノートの取組…自分で課題を見つけ、進んで取り組む
- タブレット使用の約束… ①学習のため ②先生からの課題のため 個人的使用はしない

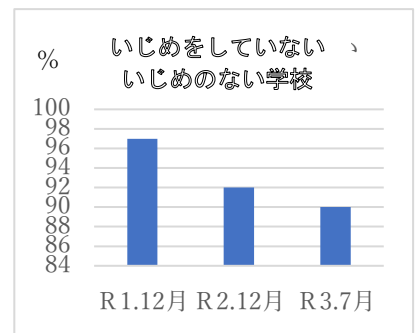
2 思いやり つながり合える子 を目指し…

- ① みんなのために働く… 委員会活動、係活動、ボランティア活動

3 芯のある子 を目指し…

- ① 遊びや運動をする… 学級遊びや体育で学習したことを生かして
- いじめは絶対にしない!…相手を大切にしたい行いや言葉遣い

いじめについては、このようなデータがあります。左のグラフは学校評価に関わる子供たちのアンケートから、「私はいじめをしていないし、いじめのない学校になるようにしています」という質問に対して、過去2年とこの7月の結果をまとめたものです。令和元年度の結果と比べると、今年度は若干低い結果となっています。今現在約9割の子供たちが、いじめに対して意識をもち、考えた行動をしていると捉えることができます。しかし、課題があることも分かります。



いじめとは、「いじめ防止対策推進法」にこのように記されています。

第2条 「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

いじめは全ての子供たちに関係する問題です。全ての蘇二っ子が心身の苦痛を感じることなく、安心して楽しく学校生活を送るためには、一人一人のいじめに対する意識と、相手を尊重する行動が大切だと考えます。

私たち教職員も、「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を、教育活動全体を通じて子ども一人一人に徹底し、未然防止、早期発見、早期対応に努めていきたいと思えます。

ご家庭におかれましても「相手を大切にしたい」といったことについて、話題にして頂けると幸いです。全ての蘇二っ子の幸せのために、よろしく願いいたします。

